

世界で活躍する今治市出身アーティストが贈る

ピアノ × アコーディオンコンサート

- パリの風を音楽に乗せて -



今年3月NYカーネギーホールデビュー
佐伯牧里南 さいき まりな
(ピアノ)
今治市出身



フランスのArtist of the Year 2026
ジュリアン・ボートン
(クラシックアコーディオン)

今治タオル生地ドレスも日本で初披露!

(渡辺パイル織物株式会社提供)

プログラム ドビュッシー「喜びの島」
グリーグ「朝」
スメタナ「モルダウ」ほか

5/8 (金)

会場 **今治市公会堂**
開場 **18:00** 開演 **18:30**
入場料 **無料(事前申込)**
全席自由席
主催 **今治市**
協力 **今治タオル工業組合**

入場無料ですが、事前の申し込みが必要です。

- ◆申し込み開始 4月16日(木) 12:00 ~
※定員900名に達し次第、申し込みを締め切らせて頂きます。
- ◆申し込み方法
①右の2次元コードから
必須事項を入力してください。申込完了後、「申込完了メール」を自動送信します。
入場時に確認させていただきますので、大切に保存しておいてください。
②お電話の場合
今治市文化振興課 0898-36-1608 平日9:00~17:00
- ◆1グループあたり【最大5人まで】とさせていただきます。
たくさんの方に鑑賞していただくために、実際に来られる人数でお申し込みください。



今治市庁舎構内駐車場や旧日吉小学校臨時駐車場をご利用
いただくか、公共交通機関での来場にご協力ください。

Marina Saiki



今治市出身。中学校卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院にて学び、ピアノソロ学士課程を首席、修士課程を満場一致の最優秀賞で修了。

2026年3月、世界最高峰の舞台であるカーネギーホールでデビューを果たす。さらに、欧州名門ホール、ブリュッセル・ボーザールや、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ 東京など、世界最大級の音楽祭に招かれている。2026年10月には、シドニー・オペラハウスでのリサイタル、さらに同年12月には、コペンハーゲンの由緒あるホール、Black Diamondでの、ショーンソン《ピアノとバイオリンと弦楽四重奏のための協奏曲》のソリストとして招かれており、その国際的な活躍にますます期待が高まっている。

その演奏は、「深い精神性と詩情、繊細かつ鮮烈な表現力によって、光と人類の愛を届ける」(ベルギー クラシック・セントラル誌)と評される。

また、ダヴィッド・ワルター、ジュスティナ・ラクールなど世界的演奏家から共演を求められ、室内楽奏者としても高い評価と信頼を得ている。

ヴァル・ドゥ・トラヴェール国際ピアノコンクール最高位をはじめ、数々の国際コンクールで受賞。

2025年、初のソロアルバム《Double Reflet》をリリース。

現在はパリを拠点に、ヨーロッパ、アメリカを中心に演奏活動を展開する一方、音楽を通じた国際支援や文化発信にも積極的に取り組んでいる。

地元では平野和恵氏、井角知子氏に師事。

Julien Beauteemps

2026年、フランス最高峰の音楽賞「ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック」にて“Artist of the Year”に選出される。さらに、Classic FMが選ぶ「世界で最も注目すべき若手アーティスト30人」の一人にも名を連ね、いま世界で最も注目を集めるアコーディオニストとして脚光を浴びている。

これまでに、世界アコーディオンコンクールをはじめ10を超える国際コンクールで優勝・受賞。2025年には「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO」に招待され、日本デビューを果たした。超絶技巧と鋭い知性を兼ね備えた演奏は、聴衆と批評家の双方を魅了し、高い評価を集めている。

演奏家としてのみならず、編曲家・作曲家としても高く評価されている。フランス国营ラジオからは「編曲の天才」と称され、ガーシュウィン《ラプソディ・イン・ブルー》、ラヴェル《ボレロ》、モーツァルト《魔笛》などの名作を、独自の感性と圧倒的な創造力で鮮やかに再構築。その革新的なアプローチは、アコーディオンの可能性を大きく押し広げている。

また、《メカニクス》《ヴァイオリンとアコーディオンのためのソナタ》などの作品を発表し、作曲家としても存在感を示している。

これまでに、ゴージェ・カピュソン、フィリップ・ベルノルド、エレオノール・パンクラチ、ロマン・ルルー、フランソワ・サルクラ、世界的な演奏家たちと共演を重ねている。

